

## 関西支部2000年度第3回例会のお知らせ (海洋気象学会2000年度第2回例会と共催)

日本気象学会関西支部は2000年度第3回例会(神戸)を海洋気象学会との共催で次の通り開催します。多数のご参加をお願いします。

日時：2001年2月14日(水)09時30分～17時00分

会場：神戸防災合同庁舎2階会議室

(神戸市中央区脇浜海岸通1-4-3)

Tel 078-222-8910, Fax 078-222-8943

(神戸海洋気象台海洋課)

使用可能機器：OHP, パソコン可。

特別講演：「潮汐波とロスビー波」

廣田 勇(京都大学大学院理学研究科)

「一般講演(発表は質疑応答を含め1題12分を予定)」

1. 京阪神地域における夏季日中の水平気温分布  
\*石本顕一(神戸大学自然科学研究科), 山中大学(神戸大学/FORS-GC), 大橋唯太・木田秀次(京都大学理学部), 寺尾 徹(大阪学院), †観測協力者
2. 台風9918号の温帯低気圧化過程と雲分布パターンに関する数値実験  
\*吉野 純・石川裕彦・植田洋匡(京都大学防災研究所)
3. 低気圧後面で発達した対流雲の解析  
\*穂積 祐・植田洋匡(京都大学防災研究所)
4. 六甲山系のおろし風  
\*清原康友・山中大学・萩野慎也(神戸大学自然科学研究科)
5. 六甲おろしの数値シュミレーション  
\*金田芳彦(高松地方気象台)
6. インドネシアの対流活動日周期変化について  
\*荒木龍蔵・村田文絵・岡本典子・萩野慎也(神戸大学自然科学研究科), 山中大学(神戸大学/FORS-GC), 奥 勇一郎(京都大学防災研究所), 橋口浩之(京都大学宙空電波観測所)
7. 季節内変動のインドネシアにおける地域変化  
\*奥田俊樹・岡本典子・萩野慎也・山中大学(神戸大学自然科学研究科), TienSribimawati (BPPT)
8. 北太平洋海洋フロント域の十年規模変動に関する熱収支解析  
\*望月 崇・木田秀次(京都大学理学研究科)
9. GAME-Tibet AWS 気圧データのスペクトル解

析

\*奥 勇一郎・石川裕彦(京都大学防災研究所)

10. 西部赤道太平洋海域における SeaWiFS 衛星海色及びエアロゾルの時空間変動：検証と比較  
香西克俊(神戸商船大学), 石田邦光(鳥羽商船高専), \*草刈成直(神戸商船大学), 佐々木政幸(気象衛星センター), 野島邦一(近畿大学)
11. 赤道域太平洋上エアロゾルの正体；みらい偏光観測と散乱光計算から  
\*向井苑生・佐野 到・岡田靖彦・野島邦一(近畿大学), 香西克俊・石田廣史(神戸商船大)
12. 「みらい」による西部太平洋におけるエアロゾルと雲の観測  
\*杉本伸夫・松井一郎・清水 厚・劉 兆岩(国立環境研究所), 浅井和弘(東北工業大学)
13. pre ACE-Asia 航海における大気エアロゾルの観測  
\*三浦和彦(東京理科大学・理), 河村公隆(北海道大学低温研究所), 植松光夫(東京大学海洋研究所), 杉本伸夫(国立環境研究所), 児島 紘(東京理科大学・理工), 横内陽子(国立環境研究所), 米山邦夫(海洋科学技術センター)
14. 渦相関法による海面フラックスの自動観測システム  
\*高橋聡司・中西彩子(岡山大学大学院), 塚本 修(岡山大学), 竹見哲也(大阪大学大学院), 石田廣史(神戸商船大学/地球観測フロンティア), 米山邦夫(海洋科学技術センター)
15. 西太平洋赤道域におけるバルク法による海面熱収支の評価(2)  
\*中西彩子・高橋聡司(岡山大学大学院), 塚本 修(岡山大学)
16. 西太平洋赤道域における大気・海水中二酸化炭素の測定(2)  
\*河野雄彦(岡山大学大学院), 岩田 淳・山下栄次(岡山理科大学), 塚本 修(岡山大学)
17. 西部熱帯太平洋海域における一酸化二窒素測定  
\*林 美鶴・石田廣史・兼子朋子(神戸商船大学), 柴山健一・森脇嘉一(大阪大学)

18. 「スプリットウィンドウ法」による西太平洋熱帯海域における可降水量変動  
\*竹見哲也・柴山健一（大阪大学大学院）
19. 「みらい」MR00-K04航海で観測された ITCZ 降水システムのマルチスケール構造  
\*勝俣昌己（海洋科学技術センター）
20. ITCZ 内に見られる大気対流活動の特徴について  
\*米山邦夫（海洋科学技術センター）
21. 1999年夏季に北半球高緯度地域の沿岸部に発生した海面水温の顕著な不偏差  
\*河合隆繁（日本大学大学院）
22. 駒橋第二海山周辺の海洋構造  
\*田中俊輔・関根義彦（三重大学）
23. 親潮系の低塩分水は相模湾を越えて西に移動できるか？  
\*内山 圭・関根義彦（三重大学）
24. 日本の気温に影響するグローバルな大気海洋変動  
\*伊藤 仁・関根義彦（三重大学）
25. オホーツク海の海洋環境に関する数値モデル実験  
\*酌井敏匡・関根義彦（三重大学）  
（\*は発表者）
- なお、例会終了後、懇親会を行う予定です。

## 気象技術講習会のお知らせ

（社）日本気象学会は（財）気象業務支援センターとの共催で、初心者向けに「気象学の基礎」の第4回講習会を下記の要領で2月から実施する。講習の終了後、希望者には試験（又はレポートの提出）を行い、合格者には修了証を発行する。今回は、講義の時間数をこれまでの約1.5倍にするなど、いくつかの改善を行っている。

1. 講習会の名称：気象技術講習会「気象学の基礎」課程（第4回）
2. 講習会場：（財）気象業務支援センター大会議室（4F）  
東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル（地下鉄東西線 竹橋駅下車 徒歩3分）
3. 期間：2月14日から5月16日までの毎週水曜日 14時～17時の全14回。
4. 講習内容：気象技術習得のための気象学とそれに関する数学・物理の基礎を解説する入門講座。

### 5. 申し込み方法及び申し込み先：

はがきに住所、氏名、年齢、電話番号及び「気象学の基礎課程受講希望」と書いて〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル（財）気象業務支援センター講習会（基礎）係まで申し込む。

締切りは2月4日（日）（消印有効）

定員は40名で、定員になり次第締め切る。

### 6. 受講料：教材費込みで1人51,000円（税込み）。

詳しい内容は（財）気象業務支援センター及び（社）日本気象学会のホームページに掲載する他、次のところへ。

（財）気象業務支援センター 講習会（基礎）係

Tel：03-5281-0440, Fax：03-5281-0443

E-mail：kousyuu@jmbasc.or.jp